

# JICA 駒ヶ根 PROFILE

独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所



# 日本と開発途上国を結ぶ架け橋として

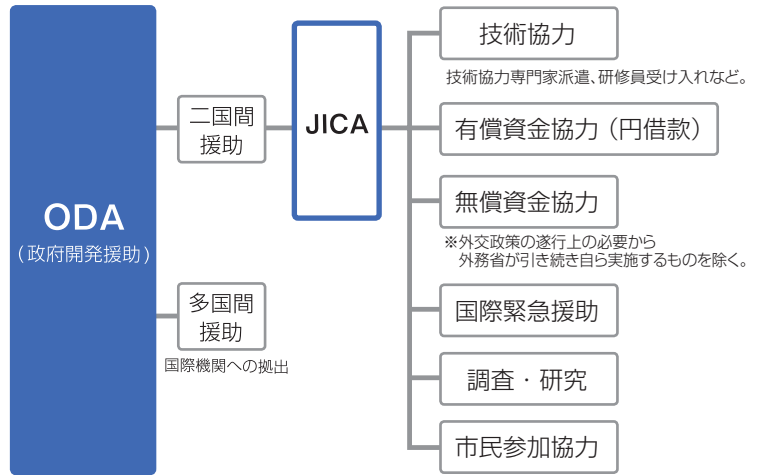
## ODAとJICA

日本は、1954年にコロンボプラン\*1 に加盟して以来、「国際社会の平和と安定及び繁栄の確保により一層積極的に貢献すること\*2」を目的に、政府開発援助（ODA: Official Development Assistance）として、開発途上国に資金的・技術的な協力を実施してきました。

JICAはODAのうち、国際機関への資金の拠出を除く、二国間援助の3つの手法、「技術協力」「有償資金協力」「無償資金協力」を一元的に担っています。世界最大規模の二国間援助機関であるJICAは、約90カ所にのぼる海外拠点を窓口として、世界150以上の国と地域で事業を展開しています。

\*1 コロンボプラン：南アジア、東南アジア、太平洋地域諸国の開発援助のために1950年に設立された国際機関。スリランカのコロンボに事務局がある。

\*2 2015年2月策定、開発協力大綱より。



## JICAの国内拠点と海外拠点

JICAは、東京の本部に加え、全国に15カ所の国内拠点を設置しています。

国内拠点は、JICAの国際協力の重要な現場です。開発途上国からの研修員が学ぶ受け入れ先を提供し、地域における国際協力と市民参加を推進しています。

こうした研修員受入事業に加えて、JICAの事業や国際協力についての情報提供および開発教育支援、また、自治体、NGO、大学などとの市民参加協力事業を幅広く支援しています。

国内拠点は、これからも開発途上国と日本を結ぶ架け橋として、それぞれの地域の社会や産業、市民が育ててきた知恵や技術、経験を活かした特色ある国際協力を推進する拠点として活動を進めていきます。

### 国内拠点

- ① JICA北海道(札幌)/ほっかいどう地球ひろば
- ① JICA北海道(帯広)
- ② JICA東北
- ③ JICA二本松
- ④ JICA筑波
- ⑤ JICA東京
- ⑥ JICA地球ひろば
- ⑦ JICA横浜
- ⑧ JICA駒ヶ根
- ⑨ JICA北陸
- ⑩ JICA中部/なごや地球ひろば
- ⑪ JICA関西
- ⑫ JICA中国
- ⑬ JICA四国
- ⑭ JICA九州
- ⑮ JICA沖縄

各国内機関のウェブサイトはこちらへ  
<http://www.jica.go.jp/about/structure/domestic/>



### 海外拠点

各国の拠点が窓口となり、各方面と連携して様々な事業を展開しています。



各国事務所のウェブサイトはこちらへ

## 駒ヶ根訓練所の歩み

年	訓練日数	訓練の変遷
1965年 (昭和40年)	62日間	<b>青年海外協力隊(JOCV)発足</b> 第1陣31人(うち女性5名、派遣国フィリピン、マレーシア、カンボジア、ラオス)の訓練は、当時の海外移住事業団海外移住センター(横浜)において、一般オリエンテーション及び語学、職業訓練校や団体等での技術研修が行われた。
1968年 (昭和43年)	91日間	<b>協力隊事務局・広尾訓練所 開設</b> 訓練は2ヶ月間の一般オリエンテーションと1ヶ月間の技術研修との3ヶ月間。語学は全期間を通じて行った。年3回実施。
1973年 (昭和48年)	119日間	訓練期間16週間(4ヶ月間)で年4回実施。広尾訓練所で訓練前半の8週間は座学と語学、後半8週間は語学集中訓練として代々木訓練所(オリンピック記念青少年センター施設を借用)で実施。
1974年 (昭和49年)		<b>青年海外協力隊長野県OB会 発足</b>
1979年 (昭和54年)	105日間	<b>駒ヶ根訓練所 開設</b> 年間4隊次、候補生100人規模でスタート。広尾訓練所での導入訓練1ヶ月間、駒ヶ根訓練所での語学集中訓練3ヶ月間。広尾から駒ヶ根への移動時に3日間の座学を行い、さらに駒ヶ根訓練終了後は再び広尾に戻り、修了式・壮行会等の派遣前諸行事を実施。
1982年 (昭和57年)		候補生の増加に伴い、一室2人部屋となる。
1983年 (昭和58年)		<b>駒ヶ根協力隊を育てる会 設立</b>
1984年 (昭和59年)	91日間	年間4隊次制から年間3隊次制に変わり、広尾・駒ヶ根自己完結型訓練を同時並行で実施。駒ヶ根訓練所候補生は訓練終了後に東京に移動し、両訓練所の候補生が一堂に会し、3日間の派遣手続き等の赴任前オリエンテーション及び諸行事を実施。
1986年 (昭和61年)		<b>長野県青年海外協力隊を育てる会 設立</b>
1988年 (昭和63年)	77日間	<b>研修棟・大講堂増築</b> S63.1次隊より1隊次190名規模となる。
1991年 (平成3年)		駒ヶ根訓練所修了者数5,000人突破。
1994年 (平成6年)	79日間	<b>二本松訓練所 開設</b> 派遣前の諸行事を含む全ての訓練について、同じ訓練実施計画のもと広尾・駒ヶ根・二本松3カ所同時並行で実施。
1996年 (平成8年)		<b>訓練カウンセラーの配置</b>
1998年 (平成10年)		<b>駒ヶ根訓練所開設20年の集い</b>
1999年 (平成11年)		<b>研修棟増築</b>
2000年 (平成12年)		<b>宿泊棟増築</b> 居室は個室となり1隊次230名規模となる。
2001年 (平成13年)		<b>長野県JICAデスク(長野市)開設</b> 駒ヶ根訓練所修了者数10,000人突破。 国際協力推進員の配置。
2005年 (平成17年)		<b>駒ヶ根訓練所開設25周年</b>
2006年 (平成18年)	70日間	<b>駒ヶ根でシニア海外ボランティア(SV)訓練実施</b>
2007年 (平成19年)	65日間	<b>駒ヶ根・二本松訓練所でJOCV・SVの合同訓練を開始</b> 年間3隊次制から年間4隊次制に変わる。
2009年 (平成21年)		<b>駒ヶ根訓練所開設30周年</b> 駒ヶ根訓練所修了者数15,000人突破。
2013年 (平成25年)	70日間 (SV35日間)	<b>訓練期間がJOCVは70日間、SVは35日間に。</b>
2014年 (平成26年)		<b>駒ヶ根訓練所開設35周年</b>
2015年 (平成27年)		<b>青年海外協力隊(JOCV)発足50周年</b> 累計隊員数40,000人突破。
2017年 (平成29年)		<b>日系社会ボランティア(スペイン語圏)の合同訓練を開始</b> 駒ヶ根訓練所修了者数20,000人突破。
2018年 (平成30年)		<b>日系社会ボランティア(ブラジル)の派遣前訓練を駒ヶ根に集約</b>
2019年 (令和元年)	70日間	<b>駒ヶ根訓練所開設40周年</b> JICA海外協力隊に名称が変わり、年間4隊次制から年間3隊次制に変わる。



開設当初の全景



駒ヶ根訓練所 開所式



訓練所開設20年の集い



派遣前訓練



現在の全景



JICA海外協力隊は、創設以来一貫した事業の3つの目的（①開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、②異文化社会における相互理解の深化と共生、③ボランティア経験の社会還元）の下、現地の人々と共に、途上国の課題解決に貢献する活動を行い、帰国後はその経験を国内外のあらゆる現場で生かすことを目指しています。

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所では、JICA海外協力隊として、派遣国で充実した活動をするために、70日間の合宿制で派遣前訓練を実施しています（年3回。4月～7月、9月～11月、1月～3月）。

赴任する国の公用語を集中的に学習するほか、JICAボランティア事業の理念、国際協力、異文化理解、赴任する国の事情などの講座を設け、JICA海外協力隊として活動を行う上で最低限必要とされる知識・スキルの修得と円滑な活動に必要な能力・適性を高めています。

## 主な訓練内容

### ①語学訓練

全訓練の三分の二の時間を費やし、派遣国での活動に必要な言語について、基礎的知識と実践力を身につけます。少人数のクラス制で、集中的に訓練を行います。

〈学習言語〉

英語・スペイン語・フランス語・ポルトガル語・ネパール語・ロシア語・ウズベク語・キルギス語・タミル語・ヒンディー語・シンハラ語 など

※隊次によって該当言語の訓練を実施しない場合があります。

### ②JICA海外協力隊の基礎

国際協力や日本のODAの歴史と現状及びJICA事業・ボランティア事業について理解し、JICA海外協力隊として活動していく上で必要な意識・姿勢を養います。

JICA事業概要、国際関係と日本の国際協力、チームビルディング、帰国後の進路と社会還元、国際協力人材セミナー など



チームビルディング

## 訓練所の一日（月曜日～土曜日）

7:20 朝食

8:15 朝の集い

8:45～11:40 課業

11:40～ 昼食

### ①朝の集い



訓練生全員が集まり、派遣国の国旗紹介後、国歌とともに国旗掲揚をします。

### ②語学授業



活動で重要となるのがコミュニケーション能力です。このため語学の授業は、全授業時間の約64%を占め、少人数制で学びます。

### ③食事



訓練の楽しみの一つでもある食事は、70日間一度も同じメニューがなく、地元長野県産の食材を中心とした食事が提供されます。

### ④食事当番



自分たちの事は自分交代で食事の後片付け

# 出会う場所

## ③活動手法

訓練所の地元地域の現状把握や課題の分析、計画・改善案の策定・提案(企画・実施・評価)などの実践を通して、市民と共に地域社会の活性化に取り組みながら、JICA海外協力隊が活動するうえで必要な手法、考え方を理解します。

協力活動(地域実践)、活動管理手法、プロジェクトマネジメント、コミュニケーションの基礎、ファシリテーションの基礎、協力活動手法、JICA海外協力隊活動セミナー など



駒ヶ根観光協会との情報共有



赤穂南小学校での発表会

## ④社会的多様性理解・活用

異なる文化背景を持った人々とのコミュニケーションや、人間関係の構築のために必要な心構えを身につけます。経済格差に係る疑似体験アクティビティ、異文化体験演習、任国事情 など

## ⑤健康・安全管理

任地での健康管理と安全対策に必要な知識を身につけます。任国での健康管理、救急法、感染症、婦人科、海外における交通安全、安全対策 など

## ⑥各種オリエンテーション

各種オリエンテーションを通じて、訓練の概要、派遣手続きなどを理解します。



海外における安全対策の訓練の様子

## JICA駒ヶ根で派遣前訓練を実施する地域・国

アジア	インド、ウズベキスタン、キルギス、ネパール、スリランカ
大洋州	キリバス、サモア、ソロモン、トンガ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア
中南米	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、コロンビア、チリ、ドミニカ共和国、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ブラジル、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ
アフリカ	ガボン、カメルーン、セネガル、ベナン、ブルキナファソ

2019年3月現在



語学交流会の様子

13:00～ 課業

17:00～ 自主講座など

18:00 夕食

23:00 消灯

### ⑤各種講座



健康管理や安全管理、異文化理解など、途上国の活動に必要な知識を学びます。

### ⑥予防接種



派遣国の事情を考慮し、感染症から身を守り周囲への感染を予防するために接種します。

### ⑦課業外講座



課業外の時間は、個人に必要な知識や語学等を補う時間となります。特別講師を招き、実施される課業外講座もあります。



たちで！訓練生がけを手伝います。



## 開発教育(国際理解教育)支援事業

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所では、次のようなプログラムで、国際理解教育・開発教育の支援を行っています。また、市民の皆さまにもご活用いただけるプログラムも提供しています。

### 国際協力出前講座

JICA 海外協力隊経験者、駒ヶ根訓練所の語学講師・スタッフなどを講師として、学校現場や研修等に派遣し、活動体験談、途上国の話を聞くことができます。他にも、国際理解ワークショップ、エスニック料理教室なども行います。生徒さんたちの国際理解や異文化理解、将来の進路選択に役立つ機会としてご利用いただいています。



エスニック料理教室

また、これからの「多文化共生」の時代を見据えた、地域の異文化理解の機会としてご利用いただいています。

内容や人数など、予算に合わせ、ご要望に応じた形で開催しますので、ご相談ください。



小学校での「国際協力出前講座」の様子

### 駒ヶ根訓練所への施設訪問

日本に2ヵ所しかない JICA 海外協力隊が派遣前の訓練を行う駒ヶ根青年海外協力隊訓練所で、国際理解や国際協力について学びます。訓練中は JICA 海外協力隊候補者が、どのような訓練を行っているのかを肌で感じることができます。海外協力隊経験者の体験談を聞いたり、国際理解ワークショップを受けることもできます。また、実際に訓練を受けている海外協力隊候補者との昼食交流会では、候補者から協力隊に参加した動機や訓練の様子などを聞くことができます。

小学生には、世界を知る一步、中学・高校生にはキャリア教育の一環としてご利用いただいています。



施設訪問での体験談

### 駒ヶ根訓練所での体験型プログラム

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所にて、JICA海外協力隊が行う派遣前訓練を体験していただくプログラムです。国際理解ワークショップ、語学訓練、体験学習を通し、国際感覚を身に付けてもらい、国際協力について学ぶことができます。

また、訓練中の JICA 海外協力隊候補者との交流や意見交換をする貴重な体験をすることができます。



高校生の宿泊型研修での発表

## 長野県JICAデスク

JICAは(公財)長野県国際化協会(ANPI)内に長野県JICAデスクを設置し、国際協力推進員を配置しています。

国際協力推進員はJICAが実施する事業や広報・啓発活動の推進、自治体の国際交流・協力事業との連携促進などの業務を行っています。国際協力やJICAの活動に関するご質問、ご相談など、お気軽にご連絡ください。



JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

### 長野県JICAデスク

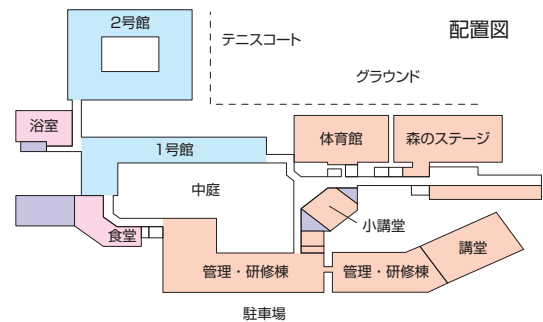
(公財)長野県国際化協会(ANPI)内 JICAデスク  
〒380-8570 長野市大字南長野692-2 長野県庁内  
TEL:026-235-7186 FAX:026-235-4738  
E-mail:jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp



### JICA駒ヶ根施設概要

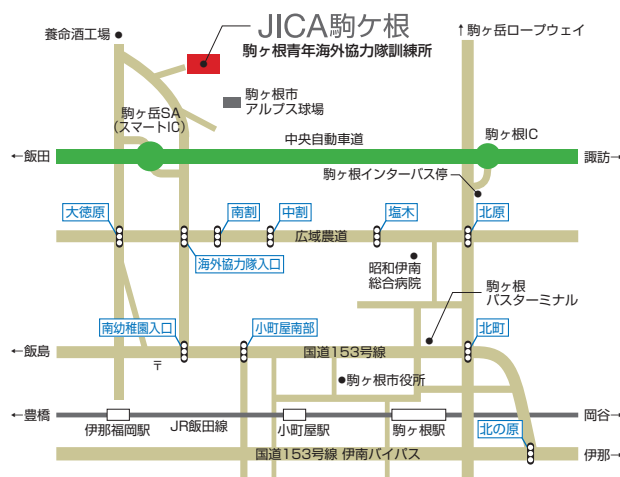
**建設規模** 敷地面積：61,953m<sup>2</sup> 延床面積：13,828m<sup>2</sup>

- 主要施設**
- ◆管理研修棟 語学教室、講堂、図書資料室、診療室、体育館、セミナールーム、生活技法実習室
  - ◆宿泊棟 1号棟3階建、2号棟4階建  
居室：238室(身体障害者用2室含)
  - ◆その他 食堂、浴室、グラウンド、テニスコート



### JICA概要

- 名称 独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency (JICA)
- 代表者名 理事長 北岡 伸一
- 所在地 本部/〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1階～6階  
Tel. 03-5226-6660～6663(代表)
- 設立年月日 平成15年10月1日
- 設立目的 独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)に基づき設立された独立行政法人で、開発途上地域等の経済及び社会の開発若しくは復興又は経済の安定に寄与することを通じて、国際協力の促進並びに我が国及び国際経済社会の健全な発展に資する事を目的とする。
- 資本金 8兆998億円(2018年3月末時点)
- 常勤職員数 1,909名(2018年3月末現在)  
(定員ベース)



## JICA駒ヶ根

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15番地  
TEL: 0265-82-6151(代表) FAX: 0265-82-5336  
<https://www.jica.go.jp/komagane/>  
E-mail : jicakjv@jica.go.jp

独立行政法人 国際協力機構 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〈メールマガジン配信中〉 [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp)  
毎月1回、長野県内の国際協力に関する最新情報を配信しています。ご希望の方は上記のアドレスまでご連絡ください。